

政治学研究科の掲示板にもレポート課題を掲示いたしますので、ご確認下さい。

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	金融論特論 A	担当教員	花崎 正晴
レポート課題	企業金融、コーポレート・ガバナンス、メインバンク論、系列などに関する相互に関連性のある文献を3点程度サーベイするとともに、自分の考えを述べなさい。サーベイする文献は、実証研究のみならず理論ペーパーでも良い。また、授業で配布した参考文献リストに載っているものでも、いないものでも良い。文末に Reference を付けること。		
制限枚数	分量：4,000字～6,000字		
提出締切	2008年8月5日(火) 教場での提出、e-mail の添付ファイル (WORD or PDF) または郵送。 教場での提出：7月16日(水)		
備 考	花崎先生の e-mail アドレスおよび郵送先は、掲示板もしくは事務所で確認すること。		

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	財政学(馬場)	担当教員	馬場 義久
レポート課題	自己の研究テーマに関して任意に課題を一つ設定し論ぜよ。		
制限枚数	なし。		
提出締切	事務所提出：7月22日(火)		
備 考	必ず論文としてまとめること。レジメ形式は認めない。		

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	金融論(藪下)	担当教員	藪下 史郎
レポート課題	7月29日(火)16:30～17:00の間に、藪下研究室(3号館220)を訪問のうえ、試験問題を受け取ること。		
提出締切	事務所提出：7月30日(水) 16:30		
備 考	レポートではなく、試験として取り扱う。		

政治学研究科の掲示板にもレポート課題を掲示いたしますので、ご確認下さい。

2008年度 前期			
レポ ー ト 課 題			
科目名	国際経済論(秋葉)	担当教員	秋葉 弘哉
レポート課題	国際マクロ経済学の異時点間最適化モデルを用いた問題に関わるテーマのレポート。		
制限枚数	20枚(A-4)		
提出締切	事務所提出: 7月22日(火)		

2008年度 前期			
レポ ー ト 課 題			
科目名	経済数学I(解析学演習)(西原)	担当教員	西原 健二
レポート課題	7月7日(月)の授業時にレポート課題を配布。 なお、7月7日(月)以降事務所窓口でもレポート課題を配布する。		
制限枚数	なし。		
提出締切	事務所提出: 7月22日(火)		

2008年度 前期			
レポ ー ト 課 題			
科目名	金融工学特論A	担当教員	松村 幸輝
レポート課題	<p>(1)「第2章リスクとリターン」の「2.3 ポートフォリオのリスクとリターンの関係」に記載されている、「2.3.1 ケース1: 資産Aと資産Bが完全正相関の場合」、「2.3.2 ケース2: 資産Aと資産Bが完全負相関の場合」および「2.3.3 ケース3: 資産Aと資産Bが無相関の場合」のそれぞれの場合について、表2.7の値を用いて期待収益率と標準偏差の関係を求めて、グラフを作成する。</p> <p>(2)「第3章効率的フロンティア」の「3.3 効率的フロンティアの計算方法」に記載されている「3.3.1 危険資産と無危険資産を含み、空売りを認める場合」および「3.3.2 危険資産のみを含み、空売りを認める場合」の計算をトレースして、グラフを作成する。</p>		
制限枚数	なし。		
提出締切	事務所提出: 7月22日(火)		

政治学研究科の掲示板にもレポート課題を掲示いたしますので、ご確認下さい。

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	統計学特論 A	担当教員	西郷 浩
レポート課題	詳細は教場で指示。		
提出締切	事務所提出：7月31日(木)		

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	理論経済学	担当教員	荒木 一法
レポート課題	詳細は教場で指示(課題内容は後日事務所でも配布予定)。		
提出締切	詳細は教場で指示。		

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	理論経済学特論 A	担当教員	荒木 一法
レポート課題	詳細は教場で指示(課題内容は後日事務所でも配布予定)。		
提出締切	詳細は教場で指示。		

2008年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	政治学英語文献研究 C (佐藤)	担当教員	佐藤 正志
レポート課題	詳細は教場で指示。		
提出締切	事務所提出：7月31日(木)		

政治学研究科の掲示板にもレポート課題を掲示いたしますので、ご確認下さい。

2008 年度 前期

レポ ー ト 課 題

科 目 名	国際経済論特論 A	担当教員	清野 一治
科 目 名	金融論特論 A	担当教員	森 映雄
科 目 名	公共経済学特論 A	担当教員	須賀 晃一
レポート課題	修士課程 1 年生：修士論文作成を念頭に置きつつ現在取り組んでいる研究テーマについての先行研究サーベイ（重要先行研究論文の紹介と問題点の検討でも可）または自身の研究成果についてとりまとめること。 修士課程 2 年生以上： 前期に報告した修士論文計画についての報告レジュメ、 研究計画書、および 現在の研究成果についてのとりまとめ。（3つをセットで提出のこと）		
制限枚数	特に枚数制限は定めない。ただし以下の書式を守ること。 1) A 4 横書き。 2) ワープロ可。		
提出締切	事務所提出：7月31日（木）		